



六ノ域遺跡（市内四之宮）：第9地点 3号土壙出土資料：（平塚市教育委員会所蔵）

夏期特別展

7月20日～8月30日

『掘り起こされた平塚Ⅱ』

■平塚の遺跡にはじめて考古学のメスが入られて以来、今日までに数百件を越える発掘調査が実施されています。日々出土する資料は歴史の定説を次々に塗りかえていきます。

■1982年の特別展「掘り起こされた平塚」から12年。この間だけでも平塚市内で300件を越える発掘調査が行われ、旧石器時代の資料や官衙関連の資料、台地上に展開する方形周溝墓群などめざましい成果があげられています。特別展ではここ12年の間に出土した資料を一堂に集めて展示し、平塚市内の考古学調査の成果を紹介します。

■開催期間■

「掘り起こされた平塚Ⅱ」

7月20日(水)～8月30日(火)(特別展示室)

■関連行事予定■

「発掘調査速報」

8月2日(火)～9月20日(火)(寄贈品コーナー)

「古代への扉-スライドで見る発掘最前線-」

8月6日(土) 13:00-15:30

「遺跡見学会 市内岡崎地区の遺跡」

8月21日(日) 14:00-15:30



市街地での発掘調査（四之宮：高林寺遺跡）〈'92.2.1〉

夏期特別展

7月20日～8月30日

『掘り起こされた平塚Ⅱ』

■1982年の特別展「掘り起こされた平塚」から12年。この間に平塚市内で300件を超える発掘調査が行われ、旧石器時代の資料や官衙関連の資料、台地上に展開する方形周溝墓群などめざましい成果があげられています。今回の特別展「掘り起こされた平塚Ⅱ」では、今までに蓄積された資料を一堂に集めて展示し、平塚市に於ける考古学調査の現状を紹介します。

その1：「平塚の古代を語る出土資料」

■開催日：7月20日（水）～8月30日（火）

■時 間：9：00～16：50

■場 所：博物館 1階 特別展示室

その2：「発掘調査速報」

■開催日：8月2日（火）～9月20日（火）

■時 間：9：00～16：50

■場 所：博物館 1階 寄贈品コーナー

その3：記念講演会

「古代への扉—スライドで見る
発掘最前線—」

■開催日：8月6日（土）

■時 間：13：00～15：30

■場 所：博物館 講堂

その4：遺跡見学会「岡崎地区の遺跡」

■開催日：8月21日（日）

■時 間：14：00～15：30

■場 所：市内岡崎地区



■7月20日から始まった夏期特別展「掘り起こされた平塚Ⅱ」では、最近10年の間に出土した考古資料を一堂に集めて展示しています。また、同じ遺構から出土した「一括資料」の展示もみどころです。平塚市に於ける考古学調査の現状をご覧ください。

■特別展関連行事■

《発掘調査報告展》

■期 間：8月2日（火）
～9月20日（火）

■時 間：9：00～16：50

■場 所：博物館 1階 寄贈品コーナー

夏期特別展 展示図録

掘り起こされた平塚
Ⅱ

博物館受付で販売しています ￥730

↑人面墨書土器（六ノ域遺跡） 平安時代

■特別展関連行事■

記念講演会

《スライドでみる
発掘最前線》

■開催日：8月6日（土）

■時 間：13：00～15：30

■会 場：博物館講堂（参加自由）

■特別展関連行事■

遺跡見学会

『岡崎地区の遺跡』

■開催日：8月21日（日）

■時 間：14：00～15：30

■場 所：岡崎地区（参加自由）

★岡崎神社境内に集合★

小雨決行

『発掘調査速報展』

8月2日～9月20日

■考古学の調査といえば、ほとんどの人が野外で行う発掘調査を思い浮かべるでしょう。しかし、調査は発掘するだけで終わるわけではありません。出土した資料や検出された遺構の状況について詳細に検討したうえで、「発掘調査報告書」を刊行しなければならないのです。発掘調査よりもむしろこちらの方が時間のかかる作業となるのです。

■発掘調査速報展では、平成4年度・5年度に行われた発掘調査で出土した資料で、現在

調査報告書を作成中の資料を中心に展示しています。

■展示資料には、岡崎の城山横穴群から出土した馬具、稲荷前A遺跡から出土した「国厨」の墨書のある土師器、山王A遺跡から出土した正倉院宝物と類似する「佐波理の匙」等、新聞その他で大きく報道された話題の資料のほか、長い保存処理作業を終えた鉄製品の数々も顔をそろえます。

体験学習 「勾玉を作ろう」

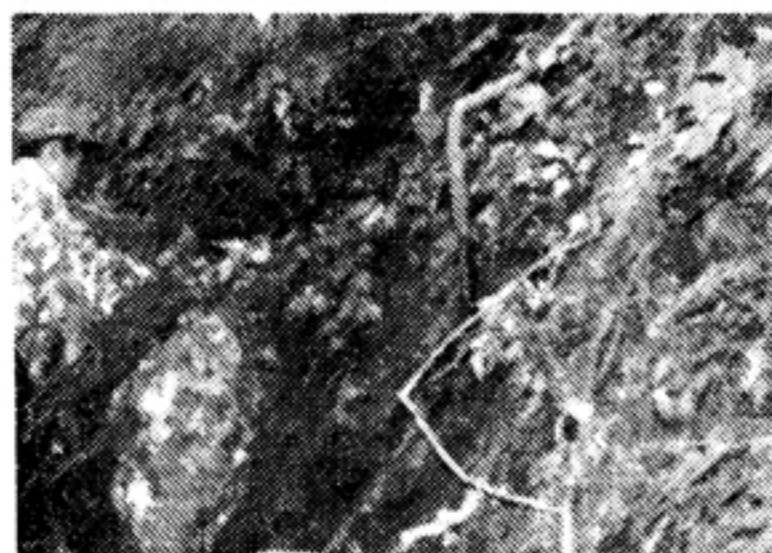
緑色凝灰岩の採集

■夏休みの体験学習「勾玉を作ろう」では去る7月28日、勾玉の材料となる緑色凝灰岩（グリーントフ）の採集に出かけました。

■少しでも古代人に近い体験をする事が目的のこの体験学習では、材料も自分で調達するのが基本。夏の暑さにもめげず、時おりまとわりつく蜂におびえながら丹沢の山道を歩くこと約1時間半。目的地周辺は青緑色の緑色凝灰岩が道や川にきらめいています。

■しかし、せっかく見つけた材料も中に亀裂が入っていると製作中に割れてしまって台無しになってしまいます。材料選びは慎重に行わなくてはなりません。

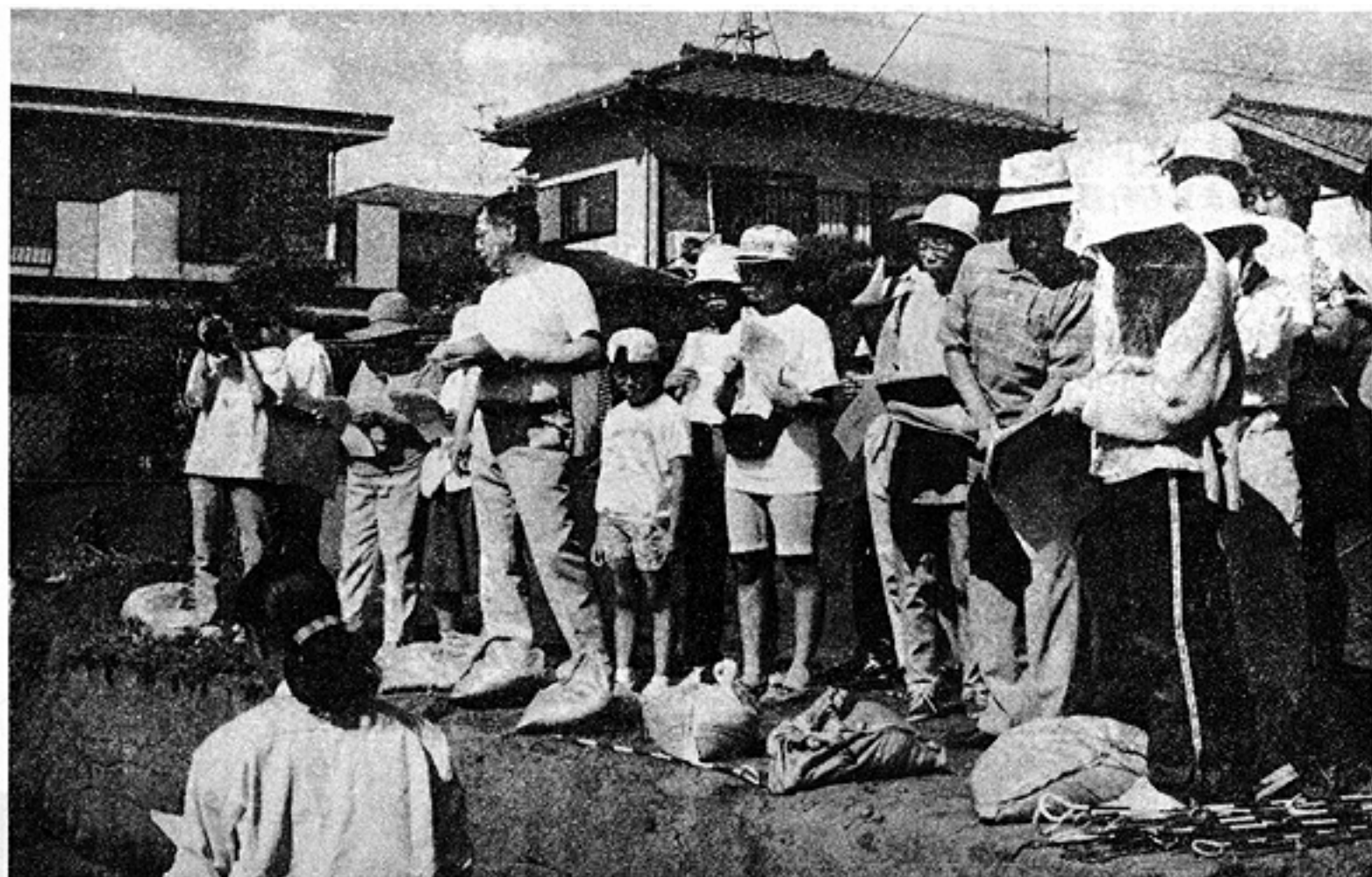
■無事材料を手に入れた一行は8月3日に砥石として使用する角閃石安山岩の採集に出かけます。より一層困難な道のりを克服して、今年はどんな勾玉ができあがるのでしょうか。



緑色凝灰岩の露頭



露頭地での緑色凝灰岩採集



夏期特別展報告 『掘り起こされた平塚Ⅱ』

《記念講演会：遺跡見学会》

■この夏、平成6年度夏期特別展「掘り起こされた平塚Ⅱ」にあわせて、2つの関連行事が開催されました。

■8月6日に開催された「スライドでみる発掘最前線」では、教育委員会の発掘調査担当者3氏による最新の発掘調査情報と平塚の考古学研究の成果が紹介されました。スライドを見ながらの解説は、台地と平野の集落の様相を知る上で貴重な資料を提供している岡崎の山王久保遺跡と中原の厚木道遺跡がとりあげられました。また、総合的な成果紹介の中では、初期の相模国府がすでに四之宮地区にあったとの見解が示され、長年にわたる国府所在地論争の新たな展開を提起しました。

■8月21日に開催された「遺跡見学会—岡崎地区の遺跡—」では、山王久保遺跡内にある岡崎神社を起点に、上ノ入遺跡、御所ヶ谷遺跡と岡崎台地上に連なる遺跡を歩いて、現在調査中の赤坂遺跡で発掘現場の見学を行いました。発掘現場を見るのは初めてという参加者も多く、「なぜ埋まっている住居址の形が掘り当てられるのか？」など発掘調査の方法から、出土したばかりの土器や石器の解説など、詳しい説明を受けました。

写真：発掘調査中の赤坂遺跡第6地点で遺跡の説明に聞き入る参加者。（遺跡見学会）